

津波のときの避難指示エリアと取るべき行動

7月30日、ロシア・カムチャツカ半島沖でマグニチュード8.8の大地震が発生した影響で、日本の太平洋沿岸に津波注意報が発表され、その後、津波警報へと引き上げられました。市には多重防御の仕組みがあり、港湾や開口部がないため、海岸堤防より海側の地域や阿武隈川河口付近に対してのみ避難指示を発令しました。市地域防災計画に基づき、津波の種類（レベル）に応じた避難指示エリアと、取るべき行動をお伝えします。

種類	津波予想高	市が発表する避難情報	避難指示エリア	取るべき行動
大津波警報	3m超（巨大）	避難指示	市道東部線より東側の区域	避難指示の発令区域より内陸側（西側）へ避難
津波警報	1~3m以下（高い）	避難指示	海岸堤防より海側 阿武隈川河口付近	海岸線や河口から直ちに離れ、海岸堤防より内陸側（西側）へ避難
津波注意報	0.2~1m以下			

津波注意報・津波警報の場合、避難指示エリアは海岸堤防より海側、阿武隈川河口付近（河川堤防より川側）ですが、不安に思う方のための自主避難場所（市民会館）を開設します。

※状況に応じて増設する場合があります。

< 津波注意報 ・ 津波警報 ・ 大津波警報 の避難指示エリア >

大津波警報が発表された際には、市民会館より海側の方は、市民会館より山側へ避難してください。



津波注意報・津波警報の段階では、多重防御の1番目の海岸堤防を超えない想定ですが、避難指示エリアの変更も想定されますので、防災情報（市ホームページや防災X、緊急速報メール、みやぎ防災アプリなど）を注視し、十分な備えをしましょう。

多重防御のしくみ

